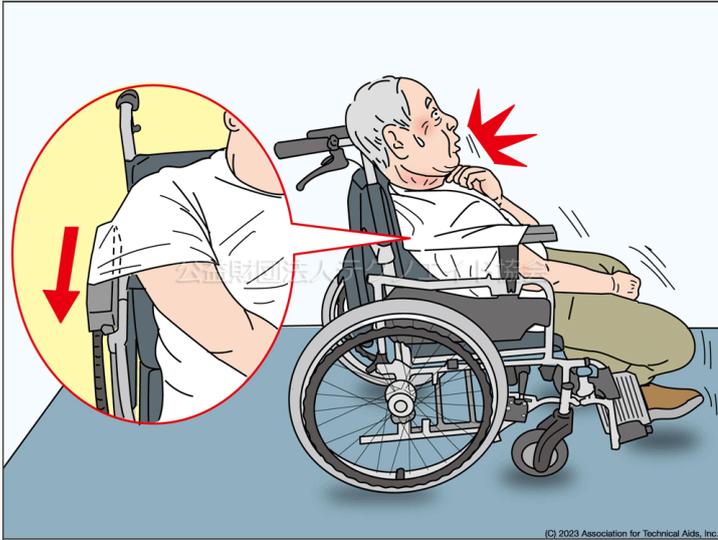


Case : 376

車いすのアームサポートに衣服が引っ掛り首が締めりそうになる

場面の説明

車いす上で身体が前方に滑り姿勢が崩れた際に、衣服の袖口が高さ調整のできるT字形状のアームサポート後端に引っ掛って、首が締めりそうになる。



利用シーン	 移動
主な利用場所	 その他
介護保険の種目	 車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

本人の座位姿勢保持の能力や身体に合わない車いすの利用により、臀部が前方に滑り出す「ずっこけ姿勢」になることがあります。このケースは更に半袖シャツの袖口が引っ掛るとい、命に係わる重大な事故につながる危険があります。そもそも不良姿勢な姿勢を放置していること自体に問題があると考えられ、身体に合った車いすを利用することが大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：股関節が固く、座位の崩れやすい利用者だった
- モノ：高さ調節式のアームサポートで、引っ掛りやすい形状だった
- 環境：使用者の生活機能に適合しない車いすだった
- 管理：座位の崩れが重大な事故につながる想定をしていなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 376

車いすのアームサポートに衣服が引っ掛り首が締めりそうになる

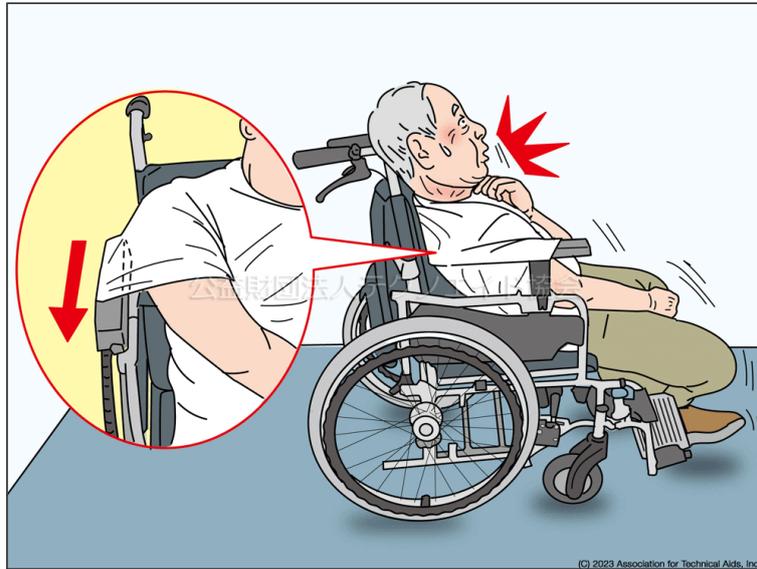
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

車いす上で身体が前方に滑り姿勢が崩れた際に、衣服の袖口が高さ調整のできるT字形状のアームサポート後端に引っ掛けて、首が締めりそうになる。



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ